

発行：株式会社リンク・インタラック  
担当：事業統括ユニット 営業企画グループ  
住所：東京都中央区銀座四丁目12番15号  
TEL：03-6853-8265 FAX：03-6859-9070 E-mail：info@interac.co.jp



## 全国の小中学校の先生方の授業のお悩みを解決 2023年度英語教育オンラインセミナー開催

リンク・インタラックが開催する2023年度の英語教育オンラインセミナーが、8月1日に開催されました。小中学校の先生、教育委員会を対象に、授業の悩みを共有し、二学期からすぐ使えるヒントを提供するものです。午前の小学校の部は上智大学短期大学講師の仲沢淳子先生、午後の中学校の部は、元関西外国語大学教授で、リンク・インタラック エグゼクティブ・コンサルタントの中嶋洋一先生を講師に迎え、これからの授業デザインについて実例やワークショップを交えたセミナーを開催しました。その模様をダイジェストでお届けします。

### 現場のお悩みをセミナーで解決

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果によると、中学3年生の英語は、平均正答率が46.1%と前回より約10ポイント低下、一部の学校でおこなった「話すこと」の平均正答数は5問中0.6問にとどまりました。国立教育政策研究所は「社会的な話題に関して聞いて分かった情報を整理し、既習の表現などを活用しながら、自分自身の考えや気持ちを理由などとともに話して伝えることができるように指導することが大切」と指摘しています。

ただ、授業改善の必要性は分かっている、現場に立つ英語科の先生や小学校学級担任の先生には悩みが尽きません。「授業時数が足りない」「ALTとの打ち合わせ時間がない」「ALTとのチーム・ティーチングの方法が分からない」「主体的な学びを実現するにはどうすればいいのか」など、さまざまです。

弊社は、先生方の悩み解決の一助となるべく、ALT派遣事業以外に、セミナーや教員研修も開催しています。また、指導案やワークシートなど教材各種、有識者講演、全国の授業、デモレッスン等の授業支援動画コンテンツを収録した、教員向けのクラウドサービスTeachers Cloud(ティーチャーズ・クラウド)、オンライン英会話サービスなどを展開し、よりよい授業づくりを支援しています。

8月1日に開かれた「英語教育オンライン・セミナー」もその一環で、今年度は小中学校それぞれの部に分かれ「授業をデザインする」観点から、2人の先生にご講演いただきました。

### 第1部 小学校の部

言語活動を通したゴールまでの辿り着き方を伝授！  
教科書を味方につけよう!!

講師：仲沢淳子先生(上智大学短期大学部講師)

#### 小学校英語のゴール達成に言語活動は不可欠

第1部は、小学校の部として上智大学短期大学部講師の仲沢淳子先生が登場しました。仲沢先生は約10年の小学校での英語指導経験を持ち、現在はJ-SHINE(小学校英語指導者認定協議会)トレーナー、また、小学校外国語教科書「Blue Sky elementary」指導書の執筆や、リンク・インタラックの小学校向け指導案集の開発などで幅広くご活躍です。



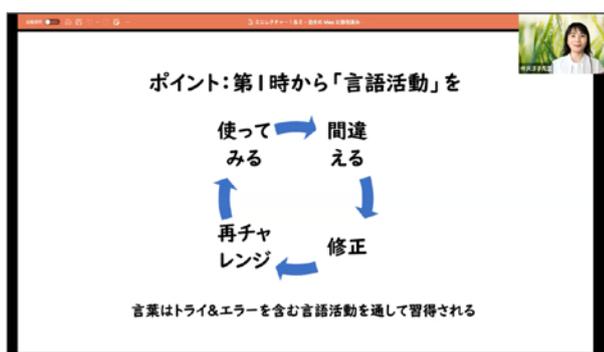
仲沢 淳子 先生

今回のセミナーでは「言語活動」「教科書」を軸にしたレクチャーの後、現場で活用できる実践的なノウハウが多数紹介されました。参加者からの質疑応答もていねいに行われました。

1つ目のレクチャーは「言語活動」の捉え方の確認です。小学校外国語科は70時間が設定されていますが、これは第二言語習得理論の観点からみてもバイリンガルになることを目指してはいません。ゴールはあくまで、将来、英語を使いこな

せるための「土台作り」にあると仲沢先生は指摘します。そのためには、使ってみて、間違えて、修正をしながら再チャレンジする言語活動を第1時から取り入れることが重要で、音声言語が頭に入っていない状態で「言わせる」「書かせる」のドリル練習や文法的な説明を行っても定着の効果は薄い、といえます。

それよりも、小学校英語で目指すべきゴールは「日本語との違いへの気づきを与えること」「読む、書くに慣れ親しませる」などとし「ヒトの言葉の習得には、文脈とその中で生じる感情が不可欠。それらを削ぎ落した無機質な練習の中では、言葉を覚えても言葉の使い方を学ぶことはできません。失敗や間違える経験も、子どもにとってはポジティブな経験になります。恐れずに最初から言語活動を取り入れて、小学校英語のゴール到達を目指してください」と語りました。



## 教科書を味方につける

2つ目のレクチャーは「教科書」の使い方です。どの教科書も、音声にふれてから、読む・書くの順で構成されています。単元の終わりに子どもたちに自信を持ってアウトプットさせるには、音声のインプットの量と質が重要です。教科書にあるスモールトークや扉絵、チャッツなどはインプットの機会として活用できます。スモールトークを行う時には、繰り返し(Oh, you went to a restaurant.)や、確かめ(Pardon?)の受け答え、うなずきや目を見るなどの非言語要素を取り入れながら、実際の場面で使えるような要素を入れていくとよいそうです。

対話を続けるために  
話の内容に焦点を当てる

- ・繰り返し Oh, you went to a restaurant.
- ・一言感想 That's nice. Really?
- ・確かめ Pardon?
- ・さらに質問 What did you eat?

うなずき、目を見る、動作、表情等の非言語要素

ポイント:実際のコミュニケーションで使える要素を入れる。

「教科書の順番はそのままの通りに進め、活動の量は児童の実態に合わせてカスタマイズします。様々な活動を通してたっぷり意味のある音声を聴かせ、知らない言葉は推測できるよう視覚的なヒントや例を与えます。単元、あるいは学期の最後に耳に残った音声を手がかりに、やり取りや発表活動を行えば十分です」。

教科書を用いた授業が始まったばかりの小学校英語では、指導する先生方の迷いも多いところ。講義は必要最小限

にし、「小学校英語の目的は何か」「Can do リストの使い方を知りたい」など、参加者からの質問に仲沢先生が答える形式で進められました。

ICTを活用しデジタルで音声聞けるようになった環境で「ALTが生かされていると感じられる授業にするためには」の質問には、「リアルなコミュニケーションの中で、子どもたちが習った英語を試せる場面を作してほしい。デジタル教材とのすみ分けをして、ALTの価値を再認識していただくと、楽しい意義のある時間になるでしょう」と、積極的なALT活用を提起しました。

セミナー参加者からは「難しく考えていた部分があったので、とても分かりやすく参考になりました」「普段聞けないような内容にもすべて答えていただきありがとうございました」などの感想が寄せられました。質疑応答の一覧は、後から読み返せるように参加者にデータで共有されました。弊社が提供するTeachers Cloudの授業動画の案内もおこない、2学期に向け先生方には、前向きな気持ちを持っていただけたようです。

## 第2部 中学校の部

授業で生徒をワクワクさせよう！  
教科書で英語力をつけるコツを教えます！

講師：中嶋洋一先生(リンク・インタラック エグゼクティブ・コンサルタント、元関西外国語大学教授)

### ゴールから逆算した授業デザインで生徒を伸ばそう

午後からは中学校の先生方を対象とした、中嶋洋一先生のセミナーが開かれました。中嶋先生は埼玉県、富山県の小・中学校に勤務の後、富山県砺波教育事務所指導主事、砺波市立出町中学校教頭を経て、2005年より関西外国語大学教授として、長年に渡り、英語指導法の研究、全国でのセミナーや校内研修等に携わってこられました。現在は、リンク・インタラックのエグゼクティブ・コンサルタントとして、全国での講演や教材監修などでご活躍中です。

今回のオンライン・セミナーでは、全国で多数の指導・助言のご経験から、学習指導要領に基づいた授業設計のあり方、さらには教科書を活用して生徒の力を伸ばす授業実践の具体例などをご紹介いただきました。



中嶋 洋一 先生

セミナーの冒頭で、参加者の「悩み」をチャット欄に記入してもらおうと、「ALTとの打ち合わせ時間が取れない」「教科書を使ってどう教えたらいいかわからない」という声が上がります。

そのような声に対して、中嶋先生は「子どもたちが“何ができるようになるか”を、教師が頭の中に描くのが先です」と強調します。「育った生徒の姿」をゴールとし、そこから逆算して授業デザイン(「ジグソー・パズル型」授業)をしていけば、学習者も指導者も現在地を確認しながら振り返るので、メタ認知力を高めることが可能になります。それが主体性につながります。これは、全体の見通しもなく、目先の文法や語彙の指

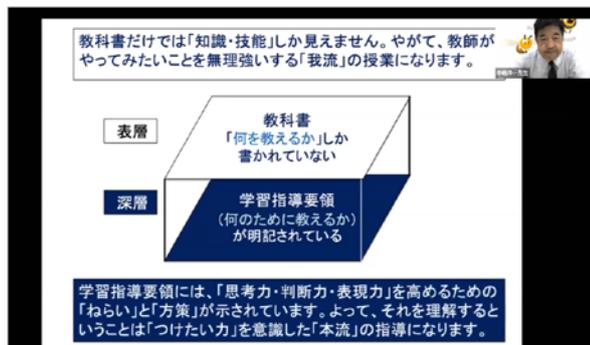
導だけを見据えた、その場で思いつきの指導を展開する「積み木型」授業とは大きく異なります。



続いて、見通しのない授業で教えられた（適切な指導もしないまま“Repeat after me.”で育った）大学生と、「できた！」を実感できる授業で教わった大学生の姿が動画で紹介されました。英文を抑揚なく音読する姿と、意味をしっかりと理解して伝わるように話す姿を比較すると、その差は歴然でした。

最後に生徒がどのように育ったかの姿が明確になっていると、教師は見通しを持った準備ができ、正しい指導ができるので、生徒がみるみるできるようになります。授業が楽しくなり、毎日ワクワクするようになります。

ただ、単元や授業のゴール、つまり「何ができるようになるか」は教科書だけを読んでも見えてきません。教科書には「何を教えるか」しか出てきません。そこで必要になるのが学習指導要領（レシピ）です。中嶋先生は「教科書と学習指導要領を並べて置き、どう繋がっているのかを丁寧に読み解いてほしい」と受講者に呼びかけました。



ただ、学習指導要領を読んでいるだけでは、授業構想は浮かんでできません。そこで、中嶋先生は、1学期間授業を行った後で、学習指導要領に出てくる「つけたい力」が具体的に評価できたかどうかをチェックする方法を提案します。三色付箋紙を用意し、「授業で指導し、テストにも出した」（緑色）「授業ではやったがテストには出さなかった」（黄色）「全くやっていなかった」（ピンク色）に色分けしていくと、自分ができていなかった箇所に気づいてハッとします。

次に、黄色とピンク色の付箋の上に、2学期以降、どんな言語活動を用意すればいいか、テストの設問をどうするかという案を書き込みます。そして、それらを剥がし、教科書の2学期の単元に貼っておきます。こうすると、指導のものがなくなり、授業の見通しも立てやすくなります。

さらに、中嶋先生は文科省検定の中学校教科書（開隆堂出版 Sunshine English Course）の代表著者として、教科書が学習指導要領に基づき、どのような手順で作成されているのか、どう繋がられているのか、指導の優先順位は何かを話されました。

「生徒の育った姿」から逆算されて用意された「活用」のタスク、さらにはそこに到達するための単元計画のあり方を知ること、おのずと必要不可欠な言語活動、評価規準（評価方法）も把握しやすくなります。中嶋先生は最後にこう言われました。「だまされたと思って、学習指導要領を読んでみてください。授業のアイデアが出てきます。今まで教科書だけを見て指導に悩んでいた方も、パッとつながるようになります」。

## ALTと信頼関係に基づく授業を作るには

ALTとのチーム・ティーチングも、授業をデザインする取り組みから、よい方向性が生まれてきます。別の授業動画では、小学校で学級担任とALT、そして子どもたちが対話をしながら新しい単語や、表現に気づいていく様子が紹介されました。「お寺を英語で何と言いますか？（How do you say “otera” in English?）」と子どもがALTに尋ね、ALTが答える中で、“I saw ~.”の意味を推測できた子どもたちが、前のめりになって聞く様子が手に取るように分かりました。また、ALTも子どもたちが、自らその意味に気づいたら、笑顔やジェスチャーで応えていました。



参加者からの質問にあった「ALTとの打ち合わせ時間がとれない」という問題も、最後に育てたい生徒像を共有しておけば解決します。ALTが見通しを持って準備をするようになるからです。「毎週、毎週、次の授業でALTと何をすればいいか（目先のこと）を考えるから、打ち合わせ時間がなくなるのです。最初にしっかりと時間を取って小中の校区のチームで話し合っておき、ゴールを共有さえしておけば、あとはメールのやりとり、または机上へのメモなどで済みます。ALTには授業の大切なパートナーであることを伝え、人間関係をしっかりと作っておきましょう」。

## まとめ

### 先生方のお悩みを解決し、より良い授業創りをサポートリンク・インタラックの学校支援

参加いただいた先生方、教育委員会の皆さまから次のような熱いコメントが多数書き込まれました。「夏休み中に授業デザインを考え直そうと思います。ALTの先生とも目標を共有して生徒がいきいきする授業を作っていきたいと思います」「非常に面白かったです。学習指導要領の重要さや教科書の使い方を改めて確認することができた有意義な時間となりました」「学習指導要領が改訂になり、教科書をどう教えるかで苦慮する日々でした。しかし、そうではなく、教科書を手段として、これからは教師自身が何を身につけさせたいのかを具体的にイメージした授業プランニングをしていきたいと思います」等々。弊社では、今後も、英語授業の困り事や悩みが解決できるセミナーをどんどん企画していきたいと考えております。

先生の「これさえあれば」を届ける



teachers  
cloud



クラウド型  
教育支援  
ツール

8,000点以上のコンテンツ  
全国5,365校が活用中  
スマホ・PCから閲覧可能

## 先生の授業のお悩みは、これで解決！

先生がALTと協働し、言語活動を通して子どもたちの4技能を育て、子どもたちが英語が好きに、コミュニケーションが楽しくなる！ そんな授業づくりをサポートします。

### オリジナル指導案・教材素材

先生とALTのチームティーチングができる！



### 動画コンテンツ

有識者講演、全国の授業、デモレッスンが視聴できます。すぐに使える授業アイデアが満載！



### お役立ち情報

- 学校教育だより「FOREFRONT」
- 日英Communication Handbook
- 学習指導要領 日英対訳版、など

インタラックや地域の取り組みなどを発信する学校教育だより「FOREFRONT」、先生とALTのコミュニケーションを円滑にする「日英Communication Handbook」、学習指導要領の内容を分かりやすく読み解く「学習指導要領 日英対訳版」などご利用できます。



### Teachers Cloud 初回設定・ログイン方法

インタラックホームページ画面上部の  ボタンをクリック

ホームページ：<https://www.interac.co.jp/>

タブレット、スマートフォンをご利用の方はこちら

